

中学校数学
第2学年
4 図形の調べ方
[問題]

中学校

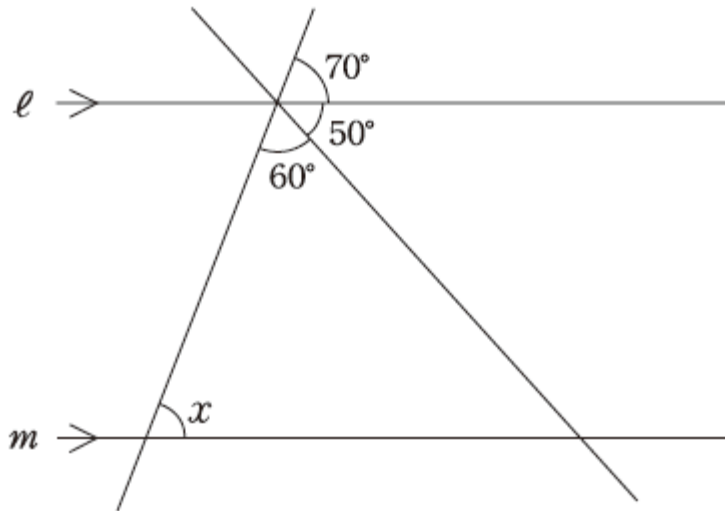
年 組 号 氏名

■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

■全国学力・学習状況調査①

1 下の図で、直線 l , m は平行です。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。【H19】



2 下の図で、直線 l , 直線 m は平行です。このとき、2つの角の和が 180° になるものを、下のアからオの中から1つ選びなさい。【H20】

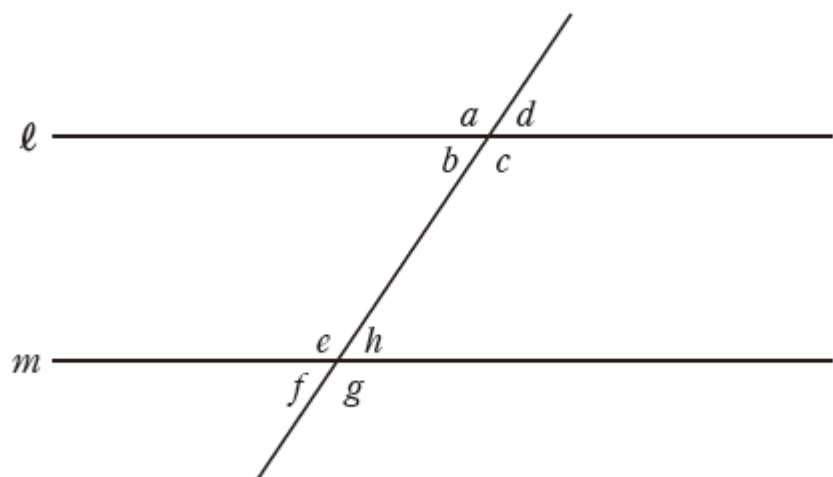
ア $\angle e$ と $\angle g$

イ $\angle c$ と $\angle h$

ウ $\angle a$ と $\angle e$

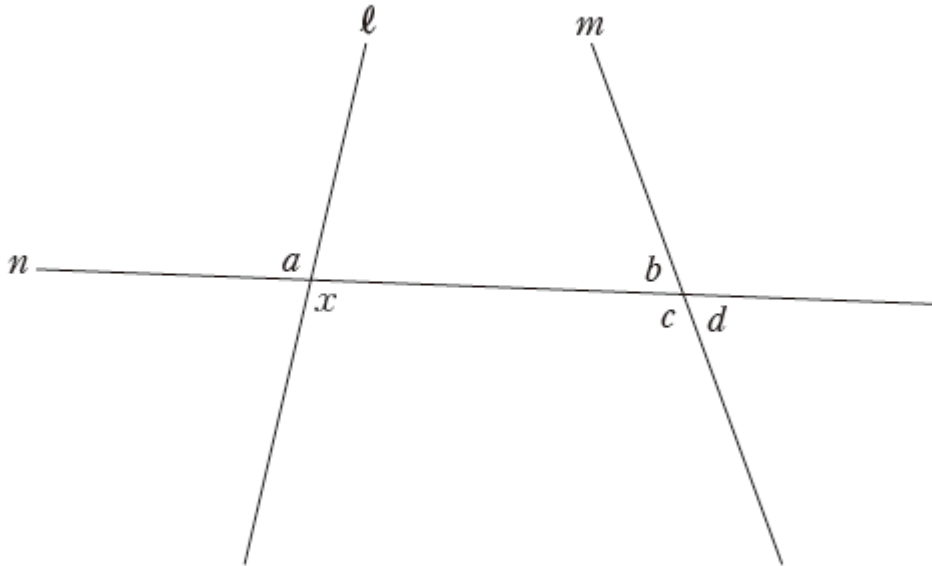
エ $\angle a$ と $\angle g$

オ $\angle d$ と $\angle f$



■全国学力・学習状況調査②

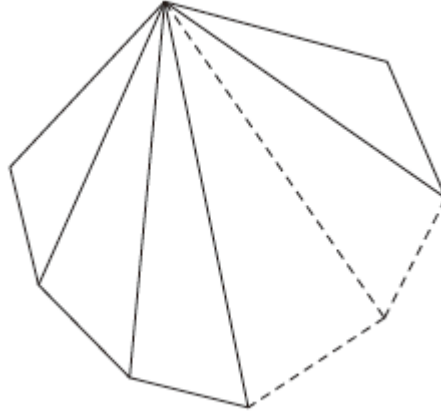
次の図のように、2つの直線 l 、 m に1つの直線 n が交わっています。このとき、 $\angle x$ の同位角について、下のアからオまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。【H21】



- ア $\angle x$ の同位角は $\angle a$ である。
- イ $\angle x$ の同位角は $\angle b$ である。
- ウ $\angle x$ の同位角は $\angle c$ である。
- エ $\angle x$ の同位角は $\angle d$ である。
- オ $\angle x$ の同位角は $\angle a$ から $\angle d$ までの中にはない。

■全国学力・学習状況調査③

下の図のように、 n 角形は1つの頂点からひいた対角線によって、いくつかの三角形に分けられます。【H20】



このことから、 n 角形の内角の和は $180^\circ \times (n - 2)$ で表すことができます。この式の $(n - 2)$ は、 n 角形において何を表していますか。下のアからオの中から1つ選びなさい。

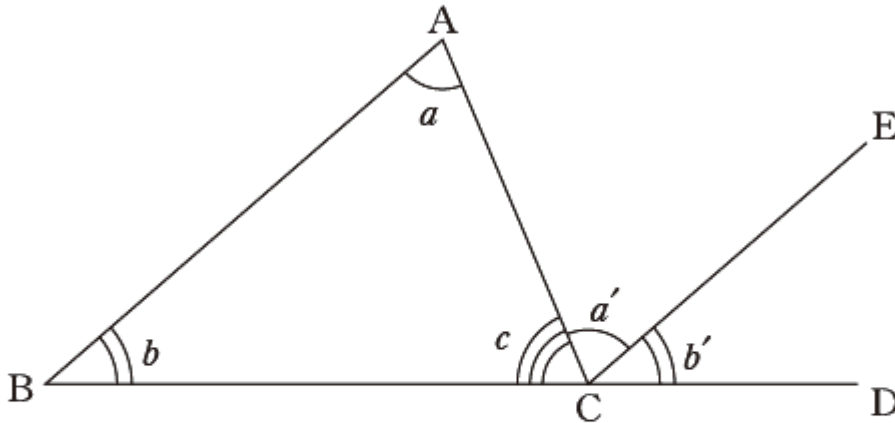
- ア 頂点の数
- イ 辺の数
- ウ 内角の数
- エ 1つの頂点からひいた対角線の数
- オ 1つの頂点からひいた対角線によって分けられた三角形の数

■全国学力・学習状況調査④

千夏さんは、「三角形の内角の和は 180° である。」という性質が成り立つ理由を、次のように考えました。【H20】

理由

下の図の $\triangle ABC$ で、辺BCを延長した直線上の点をDとし、点Cを通り辺BAに平行な直線CEをひく。



① から, $\angle a = \angle a'$

② から, $\angle b = \angle b'$

したがって, 三角形の内角の和を求めると,

$$\begin{aligned}\angle a + \angle b + \angle c &= \angle a' + \angle b' + \angle c \\ &= 180^\circ\end{aligned}$$

上の ①, ② に当てはまることがらを, 下のアからエの中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

ア 対頂角は等しい

イ 平行線の同位角は等しい

ウ 平行線の錯角は等しい

エ 三角形の内角の和は 180° である

■全国学力・学習状況調査⑤

次の図1、図2は、多角形の各頂点において一方の辺を延長したものです。この2つの図で、それぞれ印を付けた角（ \sphericalangle ）の和を比べるとき、どのようなことがいえますか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。【H21】

図1

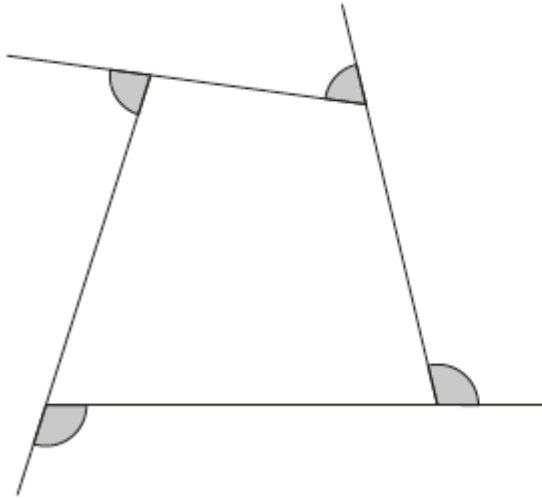
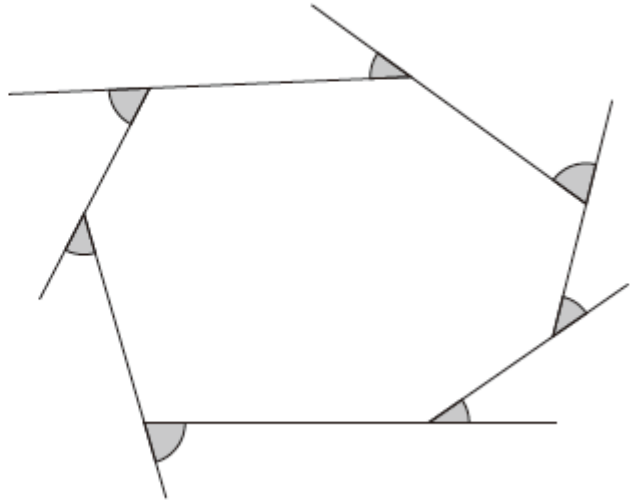


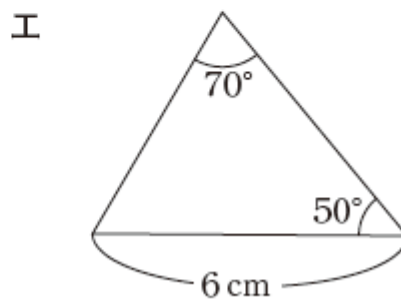
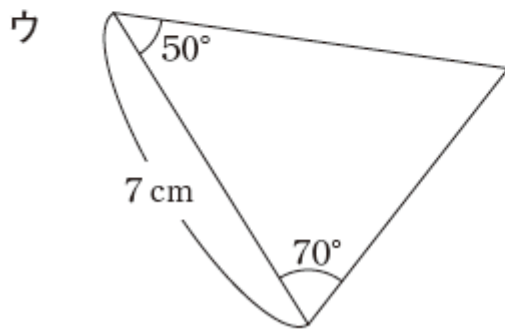
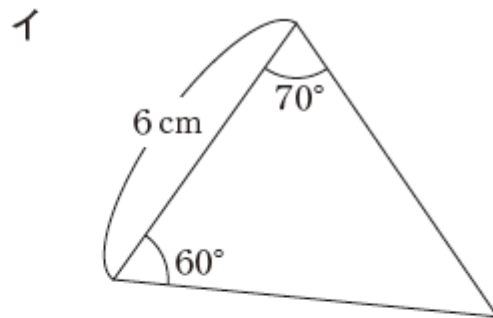
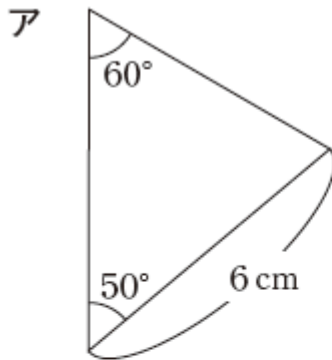
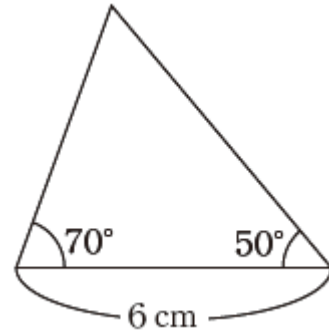
図2



- ア 図1で印を付けた角の和と図2で印を付けた角の和は等しい。
- イ 図1で印を付けた角の和の方が大きい。
- ウ 図2で印を付けた角の和の方が大きい。
- エ 図1で印を付けた角の和と図2で印を付けた角の和のどちらが大きいかは、問題の条件からだけでは分からない。

■全国学力・学習状況調査⑥

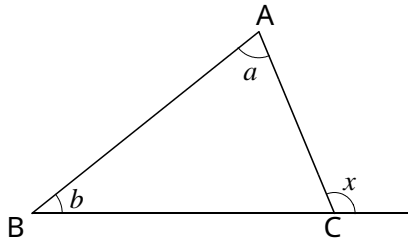
右の三角形と合同な三角形を，下のアからエの中から1つ選びなさい。【H20】



全国学力・学習状況調査

次の(1)，(2)の各問いに答えなさい。【H22】

- (1) 次の図の ABC で，頂点 C における外角 x の大きさは， a と b を用いてどのように表されますか。下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。



ア $a + b$

イ $a - b$

ウ $180^\circ - a$

エ $180^\circ - (a + b)$

オ $180^\circ - (a - b)$

【解答】

- (2) 図1の五角形の頂点 P を動かし， P の大きさを 90° に変えて，図2のような五角形にします。

図1

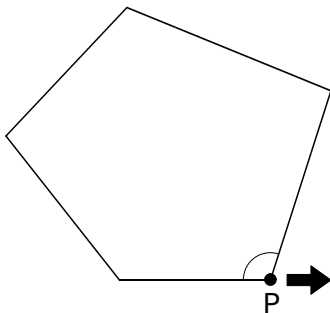
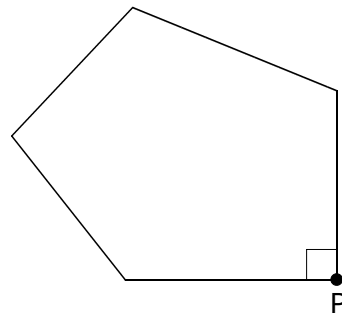


図2



このとき，五角形の内角の和はどうなりますか。下のアからエまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

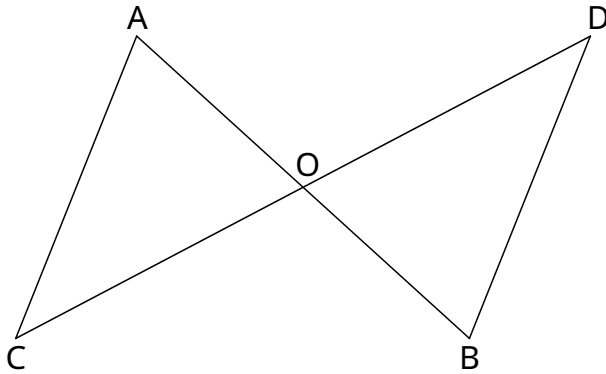
- ア 五角形の内角の和は，図1より図2の方が小さくなる。
- イ 五角形の内角の和は，図1と図2では変わらない。
- ウ 五角形の内角の和は，図1より図2の方が大きくなる。
- エ 五角形の内角の和がどうなるかは，問題の条件だけでは決まらない。

【解答】

全国学力・学習状況調査

次の図のように線分 AB と線分 CD がそれぞれの中点 O で交わっているとき、次のことがらが成り立ちます。【H22】

$AO = BO$, $CO = DO$ ならば $AC = BD$ である。



上のことがら「 $AO = BO$, $CO = DO$ ならば $AC = BD$ である。」の中で、仮定にあたる部分をすべて書きなさい。

【解答】

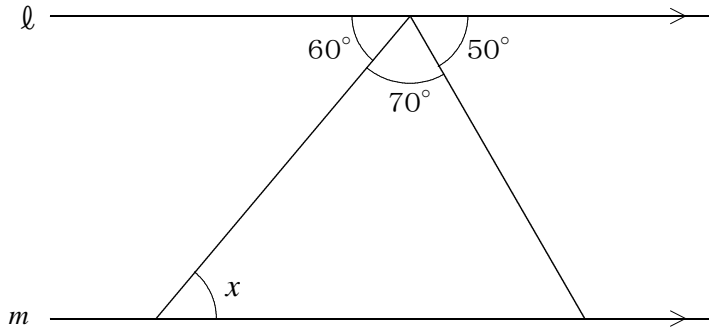
■知識・技能の習得を図る問題

年 組 号 氏名

■全国学力・学習状況調査⑨ A問題

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。【H23】

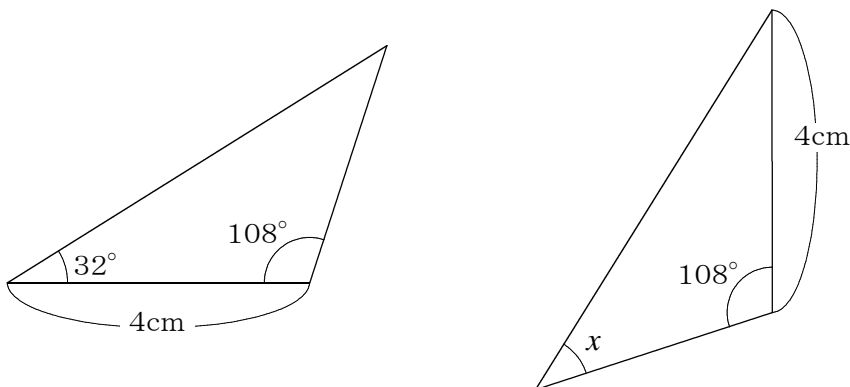
(1) 下の図で、直線 l 、 m は平行です。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



【解答】

度

(2) 下の図のような合同な2つの三角形があります。このとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



【解答】

度

■全国学力・学習状況調査⑩ A問題

図1のように五角形の外側に点Pをとり、図2の六角形をつくると、頂点Pにおける内角は 120° になりました。【H23】

図1

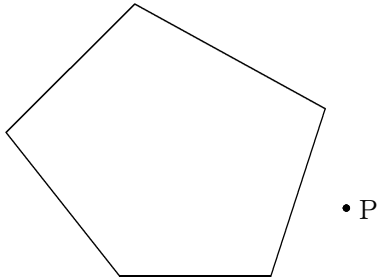


図2

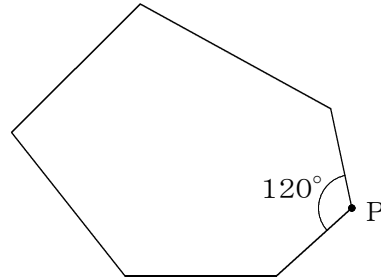


図2の六角形の内角の和は、図1の五角形の内角の和と比べてどうなりますか。下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。

- ア 図2の六角形の内角の和は、図1の五角形の内角の和より 120° 大きくなる。
- イ 図2の六角形の内角の和は、図1の五角形の内角の和より 180° 大きくなる。
- ウ 図2の六角形の内角の和は、図1の五角形の内角の和より 360° 大きくなる。
- エ 図2の六角形の内角の和は、図1の五角形の内角の和と変わらない。
- オ 図2の六角形の内角の和は、図1の五角形の内角の和と比べてどうなるかは、問題の条件だけでは決まらない。

【解答】

中学校数学

第2学年

4 図形の調べ方

[解答例]

中学校

年 組 号 氏名

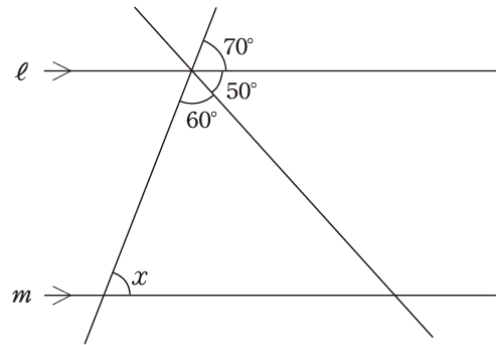
■知識・技能の習得を図る問題[解答]

年 組 号 氏名

■全国学力・学習状況調査①

- 1 $l \parallel m$ より、同位角が等しくなるので、
図より、 $\angle x$ は 70° である。

答え $\angle x = 70^\circ$



- 2 $l \parallel m$ より、錯角が等しくなるから、

$$\angle e = \angle c \quad \dots\dots ①$$

また、一直線上に角が並ぶから、

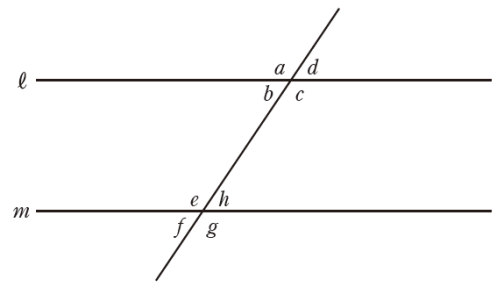
$$\angle e + \angle h = 180^\circ \quad \dots\dots ②$$

よって、①、②より

$$\angle c + \angle h = 180^\circ$$

となる。

答え イ

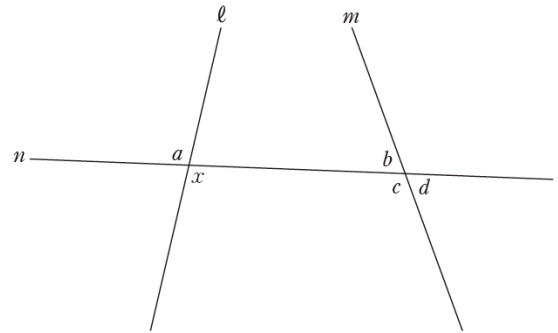


■全国学力・学習状況調査②

$\angle x$ と同位角の関係にあるのは、 $\angle d$ 。

$\angle x$ と錯角の関係になるのは、 $\angle b$ 。

$\angle x$ の対頂角は $\angle a$ 。

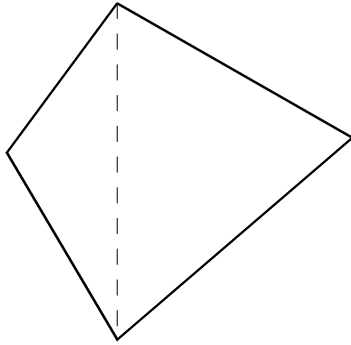


答え 工

■全国学力・学習状況調査③

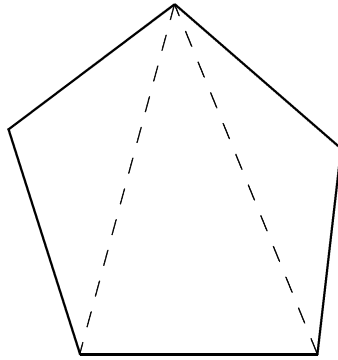
1つの頂点からひいた対角線によって、いくつかの三角形に分けられるので、四角形、五角形、六角形の場合を考えてみる。

四角形の場合



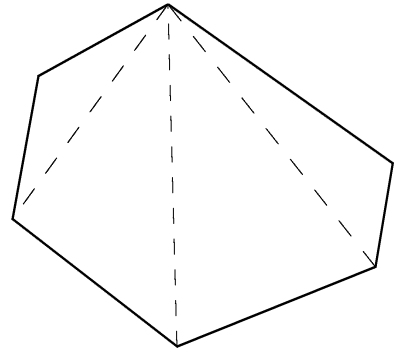
三角形の個数は2個

五角形の場合



三角形の個数は3個

六角形の場合



三角形の個数は4個

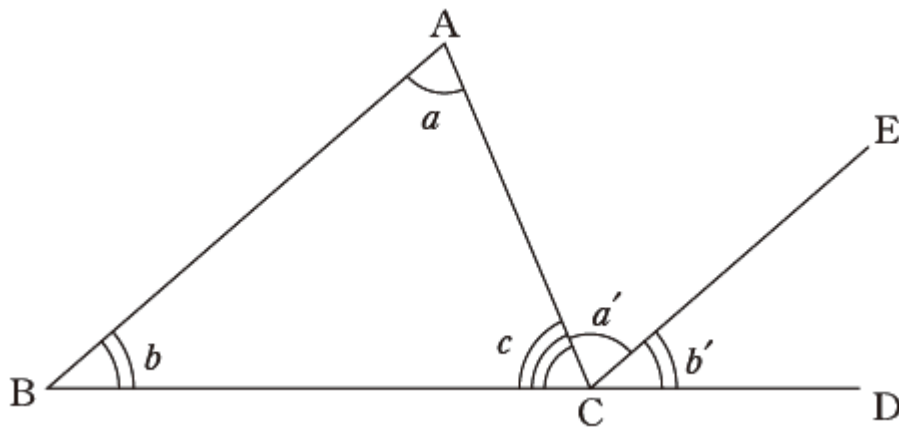
つまり、1つの頂点からひいた対角線によってできる三角形の個数は、頂点の数より2個少なくなることが分かる。

多角形	三角形	四角形	五角形	六角形	…… n 角形
三角形の個数	1	2	3	4	…… $n - 2$
内角の和	$180^\circ \times 1$	$180^\circ \times 2$	$180^\circ \times 3$	$180^\circ \times 4$	…… $180^\circ \times (n - 2)$

よって n 角形の場合は、1つの頂点からひいた対角線によってできる三角形の個数は、頂点の数より2個少ないから、 $(n - 2)$ 個となる。

答え オ

■全国学力・学習状況調査④



BA // CEと図より,

錯角は等しいので, $\angle a = \angle a'$

同位角は等しいので, $\angle b = \angle b'$

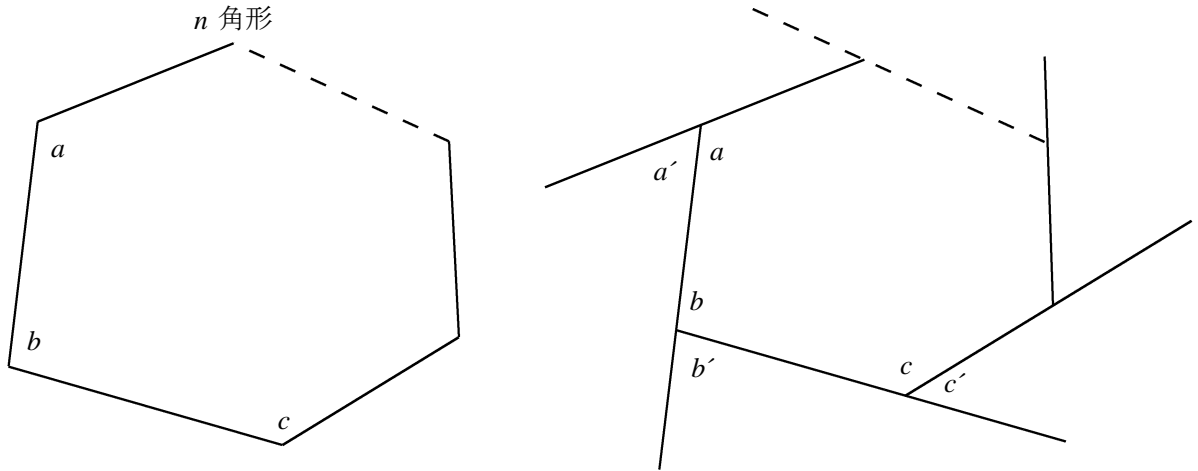
となる。

答え ①……ウ ②……イ

■全国学力・学習状況調査⑤

多角形の外角の和は常に 360° である。

多角形の外角の和が 360° になる説明はいくつかあるが、ここではその1例をあげる。



上の図のように n 角形があり、内角を $\angle a$, $\angle b$, $\angle c$, \dots とする。また、各辺を延長して外角をとり、それぞれ内角に対して、 $\angle a'$, $\angle b'$, $\angle c'$, \dots とする。

$$(\angle a + \angle a') + (\angle b + \angle b') + (\angle c + \angle c') + \dots = 180^\circ \times n$$

かっこをはずして、整理すると、

$$\underbrace{(\angle a + \angle b + \angle c + \dots)}_{(n \text{ 角形の内角の和})} + \underbrace{(\angle a' + \angle b' + \angle c' + \dots)}_{(n \text{ 角形の外角の和})} = 180^\circ \times n$$

n 角形の内角の和は、 $180^\circ \times (n - 2)$ であるので、

$$\begin{aligned} 180^\circ \times (n - 2) + (n \text{ 角形の外角の和}) &= 180^\circ \times n \\ (n \text{ 角形の外角の和}) &= 180^\circ \times n - 180^\circ \times (n - 2) \\ &= 180^\circ \times n - 180^\circ \times n + 180^\circ \times 2 \\ &= 360^\circ \end{aligned}$$

よって、図1, 図2とも外角の和は 360° である。

答え ア

■全国学力・学習状況調査⑥

三角形の3つの合同条件にあてはめて考えていく。

- ① 3辺がそれぞれ等しい。
- ② 2辺とその間の角がそれぞれ等しい。
- ③ 1辺とその両端の角がそれぞれ等しい。

与えられた図から、③の合同条件が使えることが分かる。

答え ア

全国学力・学習状況調査

(1) ア

【ポイント】

三角形の内角・外角の性質に、
「三角形の1つの外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しい。」
があったね。
この図では、
$$x = a + b$$

の関係が成り立つよ。

(2) イ

【ポイント】

n 角形の内角の和は、 $180^\circ \times (n - 2)$ で求められたよね。
だから、どんな五角形でも内角の和は 540° になるよ。

全国学力・学習状況調査

$$AO = BO, CO = DO$$

【ポイント】

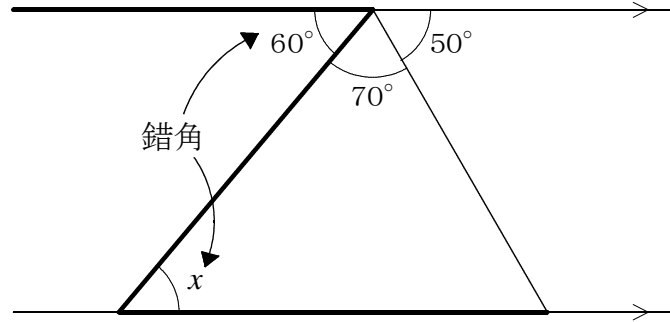
ならば、
と表される文の中で、「ならば」の前に書か
れている 部分 を仮定 といったよね。
また、
「ならば」の後に書かれている 部分
を結論 といったね。

■全国学力・学習状況調査⑨ A問題

(1) 60度

【ポイント】

平行線の性質より、
平行線間にできる錯角は等しくなるので、60度になるよ。



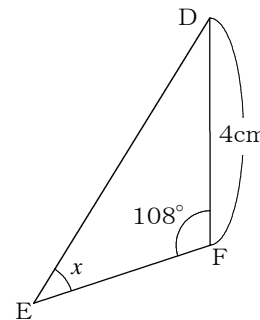
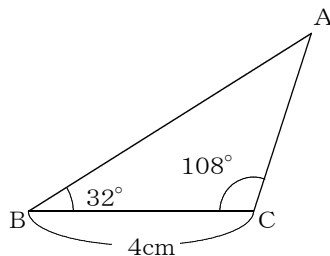
(2) 40度

【ポイント】

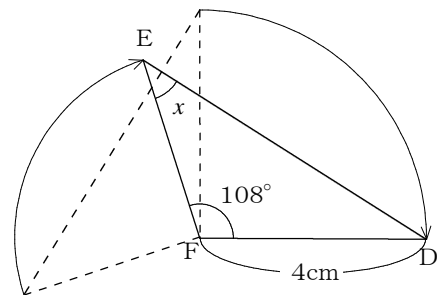
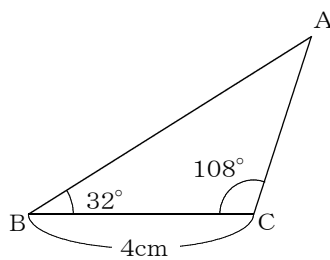
2つの三角形は合同で、 $BC = DF$ だから、 $\angle E$ に対応するの角は、 $\angle A$ になるね。
 $\angle A = 180^\circ - (108^\circ + 32^\circ) = 40^\circ$ だから、 $\angle x$ の大きさは、40度になるよ。

次のように図形を動かしてみよう。

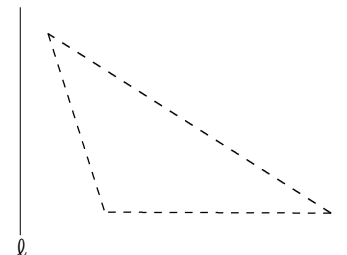
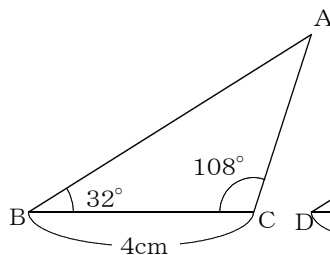
2つの三角形を
 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$
とすと、辺 BC と辺
 DF の長さが等しく
なっているね。



辺 BC と辺 DF が
平行になるように、
 $\triangle DEF$ を点 F を中
心として回転移動さ
せてみるよ。



辺 DF と垂直にな
る直線 l をひき、
この直線を対称の軸
として、 $\triangle DEF$ を
対称移動させて考え
ると分かりやすいよ。

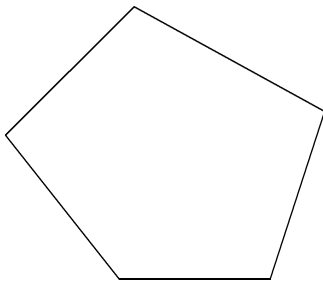


■全国学力・学習状況調査⑩ A問題

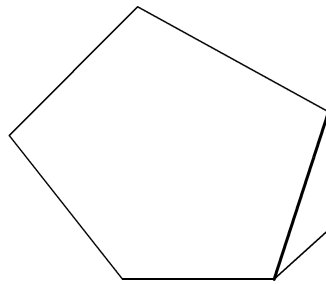
イ

【ポイント】

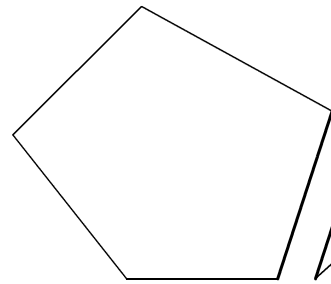
多角形の内角の和は、頂点が1つ増えると、 $\angle P$ の大きさに関係なく、
三角形の内角の和 (180°) の分だけ大きくなるので、答えはイになるよ。



•P



P



P